

2日

## 《2024年度県予算、震災後最少》

県は、一般会計総額が1兆2,381億円の2024年度予算案を発表した。新型コロナウイルス対応経費の減少などで、2023年度当初より1,001億円(7.5%)減った。産業面では起業支援やロボット分野の振興を掲げ、東日本大震災や原発事故からの復興を目指す。

5日

## 《県内女性社長割合7.3%》

帝国データバンク郡山支店は、2023年の県内企業のうち女性が社長を務める企業の割合が7.3%だったと発表した。記録が残る1990年以降、過去最高を更新したが、前年から0.1%の微増にとどまった。全国平均の8.3%を下回り、全国39位だった。

6日

## 《モモ購入額、福島市7年連続トップ》

総務省が発表した2023年家計調査(2人以上世帯)によると、福島市の1世帯当たりのモモ購入額は年間6,132円で、全国の都道府県庁所在地と政令指定都市の中で7年連続の1位となった。教科書・学習参考教材、プリン、ペットフードなど多彩な品目がトップだった。

## 《FCV 県内登録台数、東北1位》

水素で走る燃料電池車(FCV)の県内登録台数は430台(2023年12月末時点)で、東北6県の合計561台の7割以上を占め、東北1位を維持した。県は定置式水素ステーションの整備などが導入台数の増加につながっているとみている。

7日

## 《2022年産モモ産出額、震災後最高》

県内の2022年産モモの産出額が152億円(前年比6億円増)となり、東日本大震災以降で最高となった。降電の影響などはあったものの面積当たりの収量は堅調で、<sup>わせ</sup>早生種である県オリジナル品種「はつひめ」や「ふくあかり」の出荷増なども影響した。

8日

## 《伊達産あんぼ柿、米国初輸出》

県北地方特産のあんぼ柿が米国に初めて輸出され、ニューヨーク州のスーパー・サンライズマートジャパンビレッジ店で発売が始まった。あんぼ柿は、タイ、アラブ首長国連邦(UAE)のドバイなどに輸出実績がある。

9日

## 《「小高駅舎醸造所&パブリックマーケット」開業》

南相馬市小高区の酒蔵「haccoba(ハッコウバ)」が準備を進めていたJR小高駅の駅舎(2020年3月から無人駅)を活用した「小高駅舎醸造所&パブリックマーケット」が開業した。駅舎を使った醸造所は日本初で、JR東日本と連携して運営する。

17日

## 《オンライン接客、会津で実証開始》

会津若松市の東山温泉旅館「御宿東鳳」と鶴ヶ城で、新たなオンライン接客サービスの実証が始まった。スマートフォンや施設内に置かれた画面にスタッフの分身「アバター」を投影し、利用者の問いかけに即時に答える。スタッフ側は顔や声が伏せられるため、年齢や性別を問わずに参画できる。新たな労働力の掘り起こしや柔軟な働き方の提案につながると期待される。

22日

## 《県内林業産出額138億円》

本県の2022年林業産出額は138億9千万円(前年比16%増)に上り、東日本大震災前の2010年の産出額(129億6千万円)を初めて上回った。県は、不安定な国際情勢を背景とした輸入木材の不足による県産材の価格上昇などが要因とみている。

29日

## 《外国人宿泊者数、過去最多》

昨年1年間に県内に宿泊した外国人は前年の約6倍となる延べ186,160人に上り、新型コロナウイルス禍前の2019年を上回って過去最多を更新した。台湾からの宿泊者が約半数を占め、全体を押し上げる要因となった。